

課題名：院内がん登録データを用いた放射線治療需要・実施状況の実態把握

1. 研究の対象

2009 年から 2022 年に院内がん登録全国収集データに登録された患者さんを対象とします。

2. 研究組織

研究機関 大阪国際がんセンター がん対策センター

研究責任者 井川 俊樹

3. 研究期間

本研究の実施期間は、データ利用申請日から 2030 年 2 月 3 日までです。

4. 研究目的

日本におけるがんの放射線治療を受ける患者さんの数の推移を、疾患やステージごとに調査します。

5. 研究の意義

放射線治療はがん治療の三本柱の一つであり、近年、放射線治療を受ける患者さんの割合は増加しています。しかし、日本では疾患やステージごとに放射線治療を受ける患者さんの推移に関するデータが不足しています。本研究では、放射線治療を受ける患者さんの数の推移を明らかにすることで、より効果的な医療サービスの提供につながると考えられます。

6. 研究方法

国立がん研究センターのデータ利用審査委員会の承認のもと、院内がん登録全国収集データより研究に必要なデータの提供を受けます。放射線治療を受けた患者さんの数の推移を、疾患・ステージごとに解析し、全体の傾向や手術や化学療法を受けた患者さんの数と比較します。また、年齢や地域差など患者さんの数の増減に与える影響についても検討します。

7. 研究に用いる情報の種類

上記の目的のため、生年・性別・診断時の都道府県、診断日、がんの種類・部位、進行度・ステージ、診療施設の区別・種類（施設名は含みません）、発見経緯や来院経路、診断に関する情報、治療に関する情報などを使います。

8. 個人情報等の取扱い

院内がん登録全国収集データから提供を受けるデータは、どの患者さんのものかわからないように匿名化されています。データは大阪国際がんセンターがん対策センター内の施錠されたラックの中で厳重に保管します。また、研究終了後はデータを復元不可能な形で破棄します。

9. 問い合わせ先

本研究に関するご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

研究機関 大阪国際がんセンター がん対策センター

研究責任者 井川 俊樹

住所 541-8567 大阪府大阪市中央区大手前 3 - 1 - 6 9

電話番号 06-6945-1181